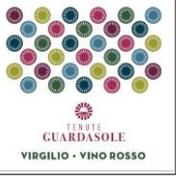




1950年からポーカの地に住むブーイ家ではブドウの専業農家だったことはなくワインは自家消費用として造られていただけだった。「私たちの家は決して美しく豊かだったとは言えないが、飲むものには事欠かなかった」と当主のマルコ・ブーイは振り返る。マルコは農業専門学校とマーケティングの学位を取得した後、多国籍の広告代理店で働いていたが、週末には畑へと戻っては時を過ごしていた。やがてブドウ畑にもっと時間を捧げたいと思うようになり仕事を辞め、2009年にワイナリーを立ち上げる。“伝統への現代的なアプローチ”をモットーとし、この地域で築かれてきたものをないがしろにすることなく、現代の技術をどのように活用するのが肝要だと考え、2haという小さな生産規模も全生産工程において自身の手の届く範囲にとどめ、丁寧な仕事を感じさせるしっとりとしたテクスチャーのワインを生み出す。

2021	暑い年ではあったが涼しい風が良く吹き、じめじめと暑いことが全くなく、完璧に健全なブドウが収穫できた。収穫量も十分で、糖度も上がりすぎず、醸造直後からポーカの赤ワインの特徴である柑橘系のアロマが立ち上り、優雅でバランスの取れたワインに仕上がった。
2020	2019VTと似たアルト・ピエモンテらしい気候だった。9月まで雨が降ったが収穫量は良く、ワインはより骨格があり、比較的早く熟成香も出ている。
2019	暑すぎず、雨量も多い、アルト・ピエモンテの典型的な気候の年だった。収穫量も平均の半分程度で、例年よりも開くまでに時間のかかる年。
2018	乾燥はしていたが、必要なときに適量の雨が降り、収穫量も多い完璧なヴィンテッジ。マルコが経験した中では過去最高ともいえ、地域の老人たちも人生で3度しか経験しなかったという、アルト・ピエモンテの特筆すべき良年。ワインはリリース直後から柔らかかった。

●Virgilio ヴィルジリオ		畑	醸造	備考
	品種：ヴェスポリーナ50%、ネッピオーロ30%、ドルチェット20% 樹齢：1950年代、定期的に再植樹 位置：標高450m、南～南西向き 土壌：マグネシウムを含む石灰岩、火山岩と火成岩の小石			
●Pio Decimo ピオ・デーチモ		畑	醸造	備考
	品種：ネッピオーロ100% 樹齢：2011年 位置：標高450～490m、南向き 土壌：マグネシウムを含む石灰岩、火山岩と火成岩の小石			
●Boca ポーカ		畑	醸造	備考
	品種：ネッピオーロ80%、ヴェスポリーナ20% 樹齢：2011年 位置：標高490m、南向き 土壌：マグネシウムを含む石灰岩、火山岩と火成岩の小石			